

都市計画マスタープランにおける都市運営の方針への対応について

長久手市都市計画マスタープランにおける「都市運営の方針」では、市民協働によるまちづくりを進めることとしており、本計画においてもこの方針に基づきながら、都市構造上の課題に対応する施策等の検討を行っていきます。

【基本的な考え方（※抜粋）】

○都市運営の考え方の導入

- ・少子高齢化、生産年齢人口の減少による担い手不足や、それに伴う財政力の低下が予想される中、公共施設や公共空間の整備や施設の維持・管理を効果的かつ効率的に行います。
- ・また、公共施設や公共空間の利活用を進めることで、楽しみ、くつろげる場の創出に係る活動を継続し、市民協働の土壌が育まれるまちを目指します。

【全体構想；都市運営の方針】（都市計画マスタープランにおける方針・施策）

- ・まちづくりに関する情報提供や市民活動団体等への活動支援を行うことにより、地域のまちづくりのニーズに対するマッチングを行い、市民協働による活動を進める中で、公共施設や公共空間の整備の方針やその使い方に関するルール作りなどを進めていきます。

【計画の実現に向けて】（市民協働によるまちづくりの推進方針）

- ・行政と市民との協働によるまちづくりに関する取組にあたっては、できることや小さな取組から始め、社会実験などの柔軟な対応により、多くの人々が気軽に参加し、試行錯誤しながら、活動を継続
- ・取組を継続し、経験を蓄積していくことで、地域住民や多様な主体が自ら地域の魅力の向上やにぎわいの創出に取組む活動である「エリアマネジメント」の契機とする



長久手市における最近の取組み事例

■長久手中央2号公園利用促進協議会（長久手中央2号公園）

- ・リニューアルを機に公園の「これから」を考える場として、「長久手中央2号公園利用促進協議会」が発足し、新たな公園の使い方、あり方を考える協議会の取組が開始
- ・設計プロセスでは「青空会議」を通して、アイデアを収集し、実験的に焚き火で焼き芋を作ってみたり、緑道でマルシェを開催したりして利活用の可能性を広げる取組を実施
- ・リニューアル工事では市民の手仕事も交えて公園とのつながりを育成

■まちかどデザインプロジェクト（古戦場南交差点花壇）

- ・市民による花壇の維持管理の取組を実施



図 市民との協働によるまちづくりに関する取組のあり方

